

## まちづくり懇談会 結果

日時：令和元年6月24日（月）  
午後6時30分～8時30分  
会場：コミセン第2会議室

### ～テーマ「産業」「観光」～

#### Cグループ

##### 【前半】

○参加者 5名

##### ○懇談内容

- ・サンタランドと言われてもピンとこない。
- ・「十勝」のイメージは強いが、「広尾町」のイメージ、印象は弱い。
- ・広尾町は温泉がないのが残念。広尾町民は温泉好き。大樹、忠類、浦河、三石などによく行っている。
- ・広尾町にはあまり魅力のある観光スポットがない。友達が来ても連れていく場所がない。サンタランドも1回行けばよいと思う。
- ・地元で取れたものを地元で食べる場所がない。店が小さくてもよい、週末だけでもよいので、そういうお店があれば。逆に話題性があつてがよいかも。例えば北の屋台のような長屋が連なるイメージで。
- ・前にあった「みはる」みたいな店が今はない。
- ・広尾町を訪れた人はお土産に何をかうのだろうか。ここに行けばそろっているというお店がないので、初めて来た人にはわかりづらい。そういった情報発信が弱いと思う。
- ・施設整備などいろいろな面において中途半端な感じがする。

##### 【後半】

○参加者 6名

##### ○懇談内容

- ・広尾ジビエをホテルオークラの北海道フェアに出させてもらった。
- ・最近魚が獲れないので、漁期も早く終わってしまう。水温の変化もあって、獲りたい魚が獲れない状況が続いている。
- ・ししゃもがたくさん獲れても、町内の加工業者がさばき切れないので、多くがむかわに行って、それがむかわブランドで売られている。広尾町は宣伝下手。
- ・ブランド秋サケ「広輝」は基準が厳しいため、あまり市場に出ない。だが、えりもの「銀聖」のように基準を緩くすると結果良くないので、今の厳しい基準

を保つことが必要だと思う。

- ・豊似に住んでいるが、普段の買い物は大樹に行っている。距離が近いことと大樹の方が夜遅くまで開いている店が多いため。
- ・町のホームページの観光情報が見つらい。
- ・漁組直売の「魚の日」の販売時間が30分しかない。⇒漁組でもどうしていけばよいか検討している。
- ・えりもでも直売所、厚岸でも直売所エーウロコが人気。広尾町でもそういう常設の直売所を設置できないか。